

伊藤 友洋さん（平成17年卒）

土地家屋調査士

◇お仕事の内容を教えてください

「司法書士・土地家屋調査士 菊池隆・新田謙一郎・高橋文雄・伊藤友洋合同事務所」で土地家屋調査士の仕事をしています。

業務内容は建物の新築・増改築・取壊し等をした時に行わなければならない建物の表示に関する登記や、土地の分筆・合筆・農地から宅地等への地目変更登記など、不動産の表示に関する登記を所有者に代行して法務局へ申請する業務、土地の境界を確定するための測量等を行っております。



◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

土地家屋調査士として登録してまだ4年と短いですが、名前を覚えていただき、お客様から相談をされたり、お仕事の依頼をお受けすることができ大変嬉しく思います。

資格者として責任を感じながら日々の業務にあたっておりますので、お客様の依頼に応えられたとき大きな喜びを感じます。

◇将来の夢を教えてください

高校、専門学校への進学時や、就職の時まで建設業に携わることを考えながら選んでまいりましたが、縁あって現在勤めている事務所への就職が決まり、右も左もわからないまま仕事をしていくうちに、この業界にのめりこんでいくようになりました。

就職して4年目のときから資格の勉強を始め、運よく合格するまでに至りました。

学生時代の願望を叶えたわけではありませんが、土地家屋調査士の業務を一生懸命に取り組むことで、お客様のため、社会のためになる仕事であることを実感しております。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

建築システム科に所属していたことから、建築や土木についての授業や、建築製図、CAD作成、測量実習など現在の仕事にも繋がるような勉強ができ、良かったと思っています。

また、サッカー部に所属しており、当時は現在のような強豪チームではありませんでしたが、練習や試合、合宿など3年間のほとんどの時間をサッカーに費やしたと言ってもいいぐらいでした。今も当時のチームメイトと集まれば、思い出話に花が咲きます。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

私が大事にしていることで『ちゃんとする』と言う言葉を伝えたいと思います。

凄く漠然とした言葉だと思いますが、学校生活をちゃんとする。身だしなみをちゃんとする。言葉遣いをちゃんとする。「ちゃんとする」＝「当たり前のことを当たり前にする」という意味だと私は考えています。自分を正すことは必ず自分のためになることだと思います。

ちゃんとした姿勢や、努力している姿は見てる人は必ず見てくれています。

だからこそ「今、ちゃんとする」ことが社会に出てから活かされてくると思うので、今を大事にしながらい学校生活を悔いなく過ごしてください。

☆取材後記

「ちゃんとする」、「見てる人は必ず見てくれている」。 本当にそうですね。

とても良い言葉を頂きました。伊藤さん、益々のご活躍を！（担当：Y）